

第 30 回福岡県作業療法学会 開催趣意書

開催趣旨

このたび、第 30 回福岡県作業療法学会を開催する運びとなりました。

公益社団法人福岡県作業療法協会は、1982 年の設立以来、県民の健康と生活に寄与するため、作業療法に関する知識や実践を発信するとともに、作業療法士が学び、交流する場として学会を開催してまいりました。本大会は、節目となる第 30 回の学会となります。

作業療法は、人々の生活を支え、「その人らしい生き方」を実現するための専門職です。その人にとって大切な「作業」や、そこに込められた価値や思いに目を向けながら、一人ひとりの生活を支えてきました。

一方、少子高齢化、医療・介護制度の変化、地域共生社会の進展、デジタル技術の発展など、私たちを取り巻く社会は大きく変化しています。このような時代だからこそ、私たちは改めて「作業療法とは何か」「作業療法士だからこそ提供できる価値とは何か」を見つめ直し、未来の作業療法を考える必要があります。

そこで本学会のテーマを、『シン・未来—作業療法の『真』価と、『新』たな可能性—』としました。

この「シン」には、次の五つの意味を込めています。

「真」— 作業療法の本質や価値を見つめ直し、その真価を問い直すこと。

「新」— 社会の変化や新たな技術を捉え、作業療法の新たな可能性を創造すること。

「進」— 変化を恐れず、一人ひとりの未来に向かって作業療法を前へ進めていくこと。

「深」— 人や作業、生活、社会をより深く見つめ、専門性を深めていくこと。

「心」— 人の情緒や思いに寄り添い、心の動きを理解しながらともに意味ある時間と未来を紡いでいくこと。

本学会では、知識や技術、研究成果を共有するだけでなく、作業療法の本質や可能性について参加者同士が語り合い、新たな気づきや次の一歩につながる場を目指します。

そして、作業療法の「真」の価値を見つめ、「新」たな可能性を考え、「進」み、「深」め、「心」をつなぐ。その先にある「シン・未来」を、参加者一人ひとりとともに創り上げていきたいと考えております。

つきましては、本大会開催の趣旨をご理解賜り、ぜひご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

開催概要

学会名 第 30 回福岡県作業療法学会

テーマ 「シン・未来」—作業療法の『真』価と、『新』たな可能性—

日時 2027 年 3 月 7 日(日)

会場 九州大学医学部 百年講堂

主催 公益社団法人福岡県作業療法協会

学会長 武谷 秀一

主なプログラム

基調講演

演題:「その先には、どのようなキャリアがあるのだろうか —キャリア資本から考える、作業療法士の「シン・未来」—」

演者:爲國 友梨香 氏

株式会社 Weave 代表取締役/株式会社 Canvas 取締役・事業統括マネジャー/認定作業療法士

市民公開講座

演題:「子供のシンの発育支援を支える魔法の言葉(仮)」

演者:濱本 孝弘 氏

社会福祉法人慈愛会 医療福祉センター聖ヨゼフ園 認定作業療法士/公益社団法人福岡県作業療法協会 代表理事

公益社団法人 福岡県作業療法協会

代表理事 濱本 孝弘

第 30 回福岡県作業療法学会

学会長 武谷 秀一